



2026年度 3学年通信

友よ 我等は

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください。

甲府東高等学校
2026. 8. 21 (金)
第6号

自立とは、他者に頼ること？

学年主任 古屋 彰士

7月22日に発行した学年通信第5号で皆さんに課した夏休みの宿題です。

宿題『日常生活において自立できている状態』とはどのような状態なのか、「日常生活において自律できている状態」とはどのような状態なのか、国語辞典の解釈を鵜呑みにせず、自分なりに定義（こうなっていれば自立・自律できていると具体的にイメージ）し、その実現に向けて真摯に取り組んでください。

この宿題を課した理由は、小論文講座で問われたということもありますが、人生の節目節目で考えるに値する問いのように感じたからです。また、自立・自律できたらどのような人間になれるのか、目指す姿がわかれば、これから先、少しは頑張れるのではないかと思ったからです。各自の置かれた状況や経験に応じて一人一人回答が異なるかもしれませんが、それがまたおもしろいと思いますし、それでいいんだとも思います。少し、いや、だいたは無理はありますが、私も18歳になったつもりで考えてみました。

まずは「自立」から…経済面での自立と精神面での自立にわけられるかもしれない。経済的な自立は今のところ無理だが、精神的な自立なら可能かもしれない。…では、親や先生のいいなりにならず（周囲に流されることなく）、自分の意志を貫徹すればそれは精神的な自立と言えるのか？…一人旅ができればそれは自立していることになるのか？…「孤立」や「独立」と何が異なるのか？…「自立」と「自立心」は別物？…社会人になったとて、結局は会社や他者からもらう給料（お金）に頼ることになるじゃないか！…といった具合に堂々巡りが続き、脳内は完全にパニックに。ふと『思考の整理学』（外山滋比古著）に書いてあったことを思い出して数日間放置。数日後、メモを見返して再考。また、数日間放置。を繰り返しましたが、結局、結論は出ず。今のところ①「自分はこうしたい、こうなりたい」というような意志がなければ自立は難しそうだということと、②辞書にあるような「他からの援助や支配を受けず自分の力だけで…」というのは現実的には難しそうで、むしろ、他者の支えや援助なしに自立はありえないのではないかと、ということの2点がぼんやりと見えてきました。整理しておくと、**「自分の意志を実現するために、他者に適切な支援を求めることができること」**とでもなるでしょうか。思ったより難しい宿題でしたね。ごめんなさい。

残念ながらスペースがなくなってしまいました。「自律」についてはまたいつか。

9月の主な行事予定

9月	3日(木)	第2回定期試験(～9/8)
	9日(水)	生徒休業日(成績処理日)
	11日(金)	ベネッセ・駿共通テスト模試(～12日)
	16日(水)	登校時マナーアップ運動
	17日(木)	▲カセット授業
	18日(金)	第2回バイク通学者説明会
	19日(土)	土曜活用事業(サタチャレ)
	24日(木)	運動会
	26日(土)	山梨県立大学説明会(11:00～12:00)
	30日(水)	10分短縮授業 ⑦納め式・新生徒会役員認証式・生徒会役員交代式・前期終業式



3年連続3回目夏休み明けの学年通信

5組担任 古屋 卓人

タイトルだけ見ると、新進気鋭の全国区のチームみたいだ。実情はそんなことない。原田先生と出会ったのはもう10年以上前のことになるし、その頃は右も左も分からない新米教師だった。夏休み前に配られた学年通信を読みながら「時間の経過とともにベテラン感だけが増してしまったのかもしれない…常に謙虚でひたむきに頑張れる人でありたいな～」と心に刻み、3年連続3回目の夏休みを迎えた。

とある日、部活動の引率中に車内で「先生はなんで先生になったんですか？」と部員に聞かれ、「それは先生って仕事に何故就いたかってこと？」って聞き返すと、「全部です！」と返ってきた。「全部…」(ここから数回のラリーを経て、なぜ高校か、そしてなぜ数学という教科にしたのかという意味だったと理解する)そこで本音と建前のすべてを話したわけではないんだけど、それでも表立った理由を今となってはいくつも挙げる事ができた。若かりし頃の私であれば、きっと熱意だけを武器に語り掛けていたかもしれないね。ここでは少しの本音を話そうと思う。教職を志すきっかけ自体は漠然としたもので、良い教員に出会えたから教員になってみてもいいかな？くらい。今思えば、周りの大人から受ける影響はすごいってことも言えるだろうし、それと同時に高校生だった私はそれ以外の選択肢を考えるという思考を停止したことにもなる。最近よく「自主性」とか「主体性」とかって言葉をよく耳にするよね。流行りのAI(Copilot)で調べてみました。下記参照で。

自主性…他者の指示を待たず、自分の判断で率先して行動する力

行動そのものに焦点があり、目的意識の有無は問われないことが多い

(例)誰かに言われなくても学習計画を立てて勉強を進める学生、決められた業務を自ら進める社員

主体性…自分の考えや目的を持ち、なぜそれを行うのかを考えた上で行動する力

(例)新しいプロジェクトを自ら立ち上げたり、問題解決のために自分で判断して行動したりする

ん～。何とも難しいですね～。前者は敷かれたレールをどのくらいの速度で進むことができるか、後者は敷かれたレールとは別に新たなレールを敷くことができるかって感じですかね？自主性あつての主体性だし、主体性あつての自主性なんでしょうね。原田先生、教えてください。いずれにせよ、高校生だった私は周りにいた良い大人に魅了され、「教員を目指す」というレールを敷き？敷かれ？突き進んだという構図には変わりありません。あくまで最後に決めたのは紛れもなく「自分」なので、後悔はありません。選択したことについてどう理由付けしていくのかも自分次第です。これから様々な困難に直面するかもしれませんが、臆することなく、大いにチャレンジしてってください！「恋は盲目」≡「受験は盲目」についても記す予定でしたが、残念ながらスペースがなくなってしまいました。この「近似式」についてはまたいつか。

